

洞爺湖町 議会だより

No.60

令和3年1月会議
令和3年3月会議
2021.5



主な内容

- P 2～3 令和3年1月・3月会議 審議内容
- P 4～10 一般質問7名登壇
- P11 総務・経済常任委員会レポート
- P12 議会のルール⑥・議会のうごき・編集後記

予算審査特別委員会報告

令和3年度各会計予算は、予算審査特別委員会を設置して、3月10日から12日の3日間で審査を行い、全会計とも原案のとおり可決しました。

令和3年度各会計予算総額

(単位:千円、%)

会 計 名	令和3年度予算	令和2年度予算	比較増減	増減比
一 般 会 計	7,346,000	7,601,080	△ 255,080	△ 3.4
国民健康保険特別会計	1,350,154	1,435,469	△ 85,315	△ 5.9
公共下水道事業特別会計	950,436	818,294	132,142	16.1
介護保険特別会計	1,196,837	1,104,179	92,658	8.4
簡易水道事業特別会計	130,251	221,447	△ 91,196	△ 41.2
後期高齢者医療特別会計	178,789	172,464	6,325	3.7
小 計	11,152,467	11,352,933	△ 200,466	△ 1.8
水道事業会計 収益的収支	257,438	270,201	△ 12,763	△ 4.7
水道事業会計 資本的収支	215,276	149,151	66,125	44.3
総 計	11,625,181	11,772,285	△ 147,104	△ 1.2

通年会期制

議会は、一年間を会期とする通年会期制となっています。

このことにより、常に議会が活動できる状態となり、議会を開く日（定例日）はあらかじめ決まっていますが、必要なときはいつでも議会を再開することができます。本議会の多様な運営や災害時の緊急対応、委員会活動の活性化など、議会の主導的な活動に取り組んでいます。

－今年の定例日－

- ・令和3年 6月会議 令和3年 6月15日から開催予定です。
- ・令和3年 9月会議 令和3年 9月10日から開催予定です。
- ・令和3年12月会議 令和3年12月10日から開催予定です。

ワクチン接種は任意ですが 感染を終息させる第一歩です

五十嵐 篤 雄 (有志会)



質問 1

新型コロナウイルス感染症
対策の今後について

問 ワクチン接種の順番と時期や場所についての考えは。

答 接種の順番はまず医療従事者、次は65歳以上の高齢者、高齢者施設の従事者、60歳〜64歳、16歳以上と順次行います。時期は4月26日の週を目安として医療機関と調整をしています。場所は、蛇田地区と洞爺地区で集団・個別の接種が行えるように調整中です。

問 住民の皆さんに通知する時期や内容として手段は。

答 接種可能な時期を見極めてできるだけ早い時期に接種券・実施場所・期間の案内通知とワクチン接種の説明チラシを送付する予定です。

問 副反応への現場対応と正確な副反応情報については。

答 ワクチン接種後15分〜30分の経過観察を行い、仮に

副反応の症状が見受けられた場合は医師により応急処置を行い、その後治療が行われることになっています。情報については、町独自の情報は持っていないので、国の調査結果の公表内容を住民の皆様周知したいと考えています。

問 接種証明の発行やデータ化して保存する考えは。

答 接種券の中に接種済証を組み入れた様式になっており、接種したワクチンの種類やロット番号なども資料として残ります。データ化についても町のシステムの中で接種情報の管理を行います。



問 令和3年度予算にコロナ対策として具体的に計上されているものがあるのか。

答 ワクチン接種に係る経費として2500万円を計上しています。経済対策を含むコロナウイルス感染症対策予算については、感染状況やワクチン接種状況を見定めながら対策を講じることとし、補正予算によりコロナ対策事業を実施したいと考えています。

質問 2

高齢者に寄り添った
取組みについて

問 当町の高齢者の人数と今後の推移については。

答 1月末現在、65歳以上の高齢者は3562人で高齢化率は42%です。令和22年には2607人で高齢化率は52.9%と見込まれています。

問 独り暮らしの高齢者の把握と町の支援策は。また後見人制度を必要あるいは受けている人の把握は。

答 1月末現在で830人おられます。見守り支援策では、民間事業者との連携、自治会との連携、社会福祉協議会の取組みで行われています。また、緊急通報装置や徘徊高齢者見守り支援機器の無償貸与も行っています。後見人制度を必要とする方の把握はできません。利用されている方は、令和元年12月末現在ですが27名です。

問 自分史の他、相続・葬儀・遺言・お墓・介護・治療・保険などを記した「エンディングノート」に取組む自治体が目立ってきています。当町でも取組んでみてはどうか。

答 当町では平成27年度よりケアネット講演会等で配布しており地域包括支援センターでは無料で配布しています。住民の皆様が最後の時まで自分らしく、また、残される家族が安心して見送れるよう活用していただきたいと思います。



教員の1年単位の変形労働制は「働き方改革」にならない

立野 広 志 (日本共産党)

質問 1

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種対応と感染予防対策の徹底について

問 新型コロナウイルス感染症の収束への有力な手段として、ワクチンへの期待がある一方で、不安の声も少なくない。ワクチンの安全性・有効性、副反応などのリスクについて、迅速かつ徹底的に住民に明らかにしていく必要があるのではないかと。

答 情報の公開は、北海道を通して、迅速、徹底的に行うよう働きかけます。

問 ワクチン接種の方法やその対応について。

答 ワクチンの供給時期や数量もはつきりしない状況ですが、町内の医療機関の協力も得て、二つの地区に分けて接種体制を準備します。集団接種と併せ、個人接種もできないか医療機関と調整中です。長期間になることから、医療従事者の負担や町職員の負担を軽減する考えです。



問 接種会場に、自らの足で出向くことができない高齢者、障がい者などの対応は。

答 ワクチン接種の受付時に移動交通手段について確認し、介助が必要な方は町として対応します。

問 ワクチン接種率や接種費用の限度額、町内の接種対象者は何人か。

答 当初予算では、接種費用が1回当たり2277円。接種率は70%です。対象者数は、医療従事者等が640名程度、高齢者の予定対象者数は3688名、高齢者施設等の従事者約160名、基礎疾患を有する方は、500名と推計しています。

問 ワクチンには発症予防効果はあっても感染予防効果は確認されていません。無症状感染者を含めた検査の抜本的拡充、医療機関への減収補填、十分な補償など、感染対策の基本的な取組を同時並行ですめるべきです。

答 感染防止の取り組みは、コロナ感染が収まるまで続ける必要があります。北海道町村会などと、国にしっかりと要望していきたい。

質問 2

核兵器禁止条約について

問 核兵器禁止条約が1月22日に発効された。「非核平和の町宣言」の町として、町長の認識と宣言の実効性ある対応を考えているか。

答 条約は非核平和の町宣言とも合致しており、日本国がこの条約に参加しているのは、少し残念に思っている。町として今後どう対応していくか、よく検討してみたい。

質問 2

35人学級への移行施策と教員の働き方改革について

問 標準法の改正による35人学級の実施と、対応は。

答 令和3年度は、少人数学級への移行がされても、クラスや教員の数は増えませんが。

問 教員の時間外勤務の現状と「働き方改革」の方策は。

答 実態調査を令和2年4月から実施しており、1カ月の時間外勤務時間の最大値は、小学校で70時間、中学校で124時間でした。

問 1年単位の変形労働制は実施すべきでないと考えるがその認識は。

答 変形労働時間制を導入する前に、教員の働き方改革を進めることが必要です。1年単位の変形労働時間制の導入は、慎重に行う必要があると認識しており、令和3年4月1日からの導入は考えていません。

安心・安全な ワクチン接種の実施を！

大久保 富士子 (公明党)



質問 1

新型コロナウイルス ワクチン接種について

問 今回初めて実用化される新型コロナウイルスワクチンは高い予防効果が報告されています。町としての新型コロナウイルスワクチンの接種体制について伺います。又地域の実情により様々な接種体制の構築が考えられると思います。町内には高齢者施設が複数設置されており、そのような施設においての対応や体制確保はどのようになっていきますか。

答 町といたしましては各施設との状況や意向を傾聴した上でその内容により医療機関のご協力をいただけるよう調整を行っているところです。

問 施設、医療機関以外の訪問介護、デイサービスに従事されている方への優先接種の町の対応は。

答 現段階では国から示されている資料によりまずと一般の方々の接種のときと一

緒に受けていただく形になると思います。

問 4月より実施予定の高齢者優先接種での質問です。接種を受ける時に、自宅で生活されている高齢者の方々の接種会場への移動手段など様々なことが想定されますが、町としての対応は。

答 町といたしましては、接種券を配布した後に予約受付を行います。予約受付時に交通手段につきましても確認を行い、交通手段のない方につきましては、町といたしまして対応してまいります。

問 町民の皆様が安心をしてワクチン接種を行えるために副作用に対する速やかな対応として、住民への事前の情報提供、また副反応が生じたときの相談先等の相談窓口を町として設置の考えがあるかお聞きます。

答 接種後の住民の皆様にはしっかりと個人管理をしていただき、不安なことなどがありましたら、かかりつけ医、あるいは健康福祉センターで相談窓口を開設しております。

町内公共施設の利用 (集会所を含む)

町内公共施設の利用に際しては、感染予防対策を徹底いただくとともに、以下の点をご留意の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

- ①施設利用前に、体調を確認してください。(発熱・のどの痛み・頭痛などの風邪の症状、体調に異変を感じる方は利用をご遠慮願います)
- ②施設利用前と後の手洗い及び消毒を徹底してください。
- ③必ずマスクを着用してください。
- ④室内の空気の流れ替え(窓や出入口を空ける)を徹底し、換気の悪い密閉空間を避けてください。
- ⑤隣との間隔が、最低1m程度確保できる人数の利用とし、密集を避けてください。
- ⑥飲食を伴う利用はご遠慮願います。

ますので、ご相談いただけるよう、併せて周知を行ってまいります。

質問などは要約されています

議会だよりは、スペースの都合から質問・答弁の全文を掲載することができないため内容を要約して載せています。詳しくお知りになりたい方は、あぶた・みずうみ読書の家、洞爺総合センターに会議録がおりますので、どうぞご覧下さい。

また、インターネットで議会中継も行っていますので、洞爺湖町議会ホームページからご覧下さい。

お問い合わせ 議会事務局 TEL0142-74-3011



人口減に対応した施策を

千葉 薫 (有志会)

質問 1

給食センターの統合及び給食費の無料化について

問 合併より15年を経過し、統合に向けての検討をすべきと思うが。

答 洞爺と虻田の給食センターには異なる給食態勢と言いますか、洞爺の方には地域住民の方との協力や短時間で学校に配食できるということと、特色ある給食が喜ばれており、かなり厳しいハードルがありました。児童生徒の減少など町の様子も変わり老朽化した虻田給食センターの問題もあり、今年度、検討委員会を立ち上げて来年2月から3月頃にまとめていきたいと考えています。

問 目に見えて子供たちの数が減っています。少子化対策の大きな目玉にもなると思う給食費の無料化に進むべきと思うが。具体的にいくらの負担になるのか。

答 合併時、平成18年度には1015名だった児童数

は、令和2年度は519名で5割ほど減少しています。給食費の無料化についてですが現在、保護者から頂いている給食費は約2600万円ほどで、仮に給食センターが統合すれば、1000万円ほどの削減になり町の負担は1600万円ほどになるうかと思えます。新たな子育て施策の一つとして町全体で議論していく施策であると考えています。



虻田給食センター

質問 2

洞爺湖町の人口ビジョンについて

問 現在の洞爺湖町の出生率、高齢化率、また平均所得はいくらか数字で示して頂きたい。道内において比較した場合、洞爺湖町の位置は。

答 出生率では1・22で道内順位等の公表はありません。

せん。高齢化率は平成27年度の国勢調査ベースで、道内で39番目に高く、平均所得の274万円は、全道129番目と低い現状になっています。

問 社人研による洞爺湖町の将来人口は当初の予想より減の幅が大きくなっているように見えるがその要因は。

答 昨年の10月1日を基準日として実施された国勢調査の速報値が6月に公表になっていますが、当町の独自推計によると人口は8453人となっており、社人研の推計より100人程度増となっており、今後の推計ですが生まれてくる子供の数が少なく、高齢化率は相当高くなります。働く場所はあるのだけれども、他の行政地区から来ている。この地域に住んでいただき生産人口を増やしていきたい、その為に基盤整備づくりをしていきたいと考えております。

質問 3

ふるさと納税について

問 令和2年度の決算見込額及び令和3年度の予算見込額は。

答 令和2年度の決算見込額としては、3464件、約7600万円を見込んでいます。令和3年度については当初予算額として、4689件、1億800万円を見込んでいます。

問 担当を置いてふるさと納税に力を入れるということであったが、どのように工夫されたのか。

答 担当職員の配置はコロナ対策の影響などで配置はできていません。新年度には間違いなく担当者を置き、先進地視察など大事だと考えています。取り組みとしては寄付サイトを4つに増やして受け入れ間口を拡大、またふるさと応援団を創設し町の良さなどSNSを通じて発信していただいています。やはり町を挙げてこのふるさと納税にしっかりと向かっていかなければならないという、覚悟を持って取り組んでまいります。

ジェンダーのない町づくり

今 野 幸 子 (日本共産党)



質問 1

ジェンダー平等について

問 長年の男らしさ、女らしさの常識から、賃金や地位の格差へ、また結婚時の同性強制や多様な性への理解等社会を変える必要があります。当町の正職員、非正規職員の数と男女比は。

答 正職員は142名でその内女性性は40%、非正規職員は135名で女性性は80%で管理職は41名でそのうち女性性は8名です。

問 ジェンダー平等を進めるには、全ての政策や施策に計画から評価までの全ての段階での参加が必要です。何をどのように進めるか具体的な考えは。

答 女性職員を確保し、出産や育児で離職しなくてよい職場づくり、環境づくりと多様な部署への配置や管理職への登用を進めつつ、今後改めて、実情に応じた計画を女性職員の意見も踏まえながら見直してまいります。

質問 2

就学援助制度の改善について

問 新型コロナウイルス感染症による経済的打撃は、立場の弱い人にほど重くのしかかっています。就学援助の基準や申請の期日は。

答 就学援助の支給に関する要綱の対象者は、生活保護世帯に準ずる世帯と特別な事情により著しい困窮が認められる者とあり、十分この点も含め実態を把握し判定、認定を進めます。

問 就学援助の申請期限に遅れた場合の対応は。

答 目安として3月5日としていますが、年度途中の申請も可能です。認定されましてから日割りで費用の一部が支援されます。会社や個人事業の休業対応は申請時、可能な限り柔軟に対応し、お子様が安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

質問 3

自然災害に対する避難対策について

問 避難区域外での降灰や噴石、避難したい人への対応と、食料等の提供は。

答 インフラや交通分断で日常生活に支障をきたす場合、自主避難や在宅避難で食料を含む物資や情報提供など生活環境の整備に必要な措置を講ずる支援をします。

問 感染症対策での換気による冬の避難所の寒さ対策と枕等の考えは。

答 電気を必要としないストープと毛布を使用、不足の時は調達し、枕は、発災後速やかに用意します。

問 女性一人での避難者もいます。女性と男性を分ける配慮は考えているか。

答 女性一人の場合は、そのことを配慮し避難スペースを確保してまいります。
問 食物アレルギー対応と、栄養バランス対策は。

答 アレルギーを引きおこしやすい27品目不使用の非常食で対応します。避難が長期化する場合は、炊き出しの提供等で食事改善に努めます。
問 コロナ禍での避難所で、発熱者が出た時の対応は。

答 感染者等を隔離し、医療機関等へ搬送し、PCR検査は北海道と連携して実施いたします。



蛇田中学校の避難所訓練の様子



新あぶた保育所 開設を急げ!

下 道 英 明 (町民ネットとうや湖)

質問 1

行政のデジタル化について

問 昨年9月会議にて質問した、人と行政の距離を縮める行政サービスのLINEでの情報発信の取り組みは。

答 LINEによる情報発信につきましては、昨年10月以降、庁内検討のうえ、各課に情報提供の依頼を行っております。観光イベント、健診、ごみ、税金、保育や住宅などによる情報提供の体制を整え、LINEの公式公開IDが付与され次第、町内回覧等で住民に周知し、サービスを提供していく予定です。

質問 2

教育行政について

問 (仮称)新あぶた保育所に係る移転先について、移転先計画の見直しに至った経緯は。

答 昨年9月以降、「ポストコロナ期における新たな学びのあり方」として、小中

学校の少人数学級実現に向けた動きが活発化し、すでに決定している本町保育所と入江保育所の統合移転計画のおり虹田小学校を統合移転先として進めた場合、少人数学級が本格的に導入されたときに活用すべき空き教室がない状態になり、校舎の増築により教室を確保するなど新たな課題が出てくる事態となり、移転先の見直しをしました。

問 本町・入江保育所の統合問題は、2019年に方針が出されました。令和元年12月会議にて「国立教育政策研究所」の事例を紹介して、児童生徒数の減少に伴って発生する余剰教室を社会教育施設に転用する事例はあるが、保育所への転用事例は極めて少ないと一般質問で指摘しました。理由は、小学校と保育所の区画分け、園庭確保の問題、グラウンドを利用する時間配分など。また財政の問題として、学校施設整備に以前起債が充てられた部分の繰り上げ償還への財政負担、駐車場整備の課題など。保育所を小

学校に移転する際の少人数学級の問題、文部科学省の指導要領が変わったときには、対応出来ないとし上げた。元々の見通しが甘かったのではないか。

答 新あぶた保育所移設に係る見直しについては、大変残念な結果であります。国の方針における小学校の少人数学級編成実現に伴い、小学校に影響を与えるリスクを回避した結果です。当時の教育委員会としては、教員と保育士等との幼保小の連携したスムーズな支援体制の構築が図られ、幼児教育にとって最適な環境が図られると判断しました。今回の見直しにご理解頂きたいです。



問 新あぶた保育所移設の開設までのスケジュールはどうなっているのか。

答 令和3年度に基本計画を策定し、令和4年度に基本設計業務、令和5年度に建設に係る実施設計業務、令和6年度から建設工事し、令和8年度に利用開始の予定です。

問 教育委員の議事録では、遅いとの指摘がありました。虹田小学校の改修で説明したように、開設時期を以前の案と同じ年度に予定した方が保護者も安心するとまで言及しています。また、議会の総務常任委員会でも利用開始が遅すぎるとの調査結果が今議会

で報告されました。利用開始を短縮できないのか。

答 子どもたちを安心・安全に保育できる環境を整備することを第一に考え、基本設計や実施計画について、関係課とも十分協議した上で、前倒しできるところは前倒しし、安心・安全な保育を提供できるように努めたいと思います。

はえある洞爺湖観光をめざして

越前谷 邦 夫（令和会）



質問 1

洞爺湖町ワクチン接種態勢と接種後の検証について

問 厚生労働省は米製薬大手の新型コロナウイルスのワクチンを承認し、医療従事者への先行接種が始まった。政府はワクチンがコロナ収束の鍵になると期待しているが専門家は開発から実用化までの時間が短いため長期的な検証が重要だと指摘する。十分な安全対策が欠かせない。洞爺湖町でも新型コロナウイルスの予防接種が開始されるにあたり、体制を整備する意向調査等を行っている。接種体制と接種後の検証について問う。医療従事者の接種が終り65歳以上高齢者接種ワクチンが国が発表している個数が入荷されるのか。現時点での接種環境に不公平さが生まれるのではないか。

答 ワクチンの供給量は非常に限定的で、案内も考え直さなければと思うっておりま

す。

問 接種後8日間は体温を測っての健康調査が大事だという学者もいる。接種後の健康管理は徹底的に行政もやっていたideきたい。

答 安心・安全に接種を進めることが第一優先で経過観察等を実施していきたいと思っております。

質問 2

資源を活かしたはえある洞爺湖観光をめざして

問 道内経済の先行き不透明感が増している。年間5000万人台を誇った道内観光客は激減状態が続く、外国人客（インバウンド）が戻る見通しは立たない。洞爺湖町においても基幹産業としての観光の重要性は変わらない、各産業振興のヒントは足元を見つめ直すことにあると思う。今こそ官民一体となって資源を生かした洞爺湖観光を蘇らせることが極めて重要である。その施策を問う。ポストコロナ時代を見据えた新しい観光

スタイルの確立を目指すためには、洞爺湖観光協会と行政との融合性が極めて重要である。観光協会の意気込みは。

答 洞爺湖観光協会と常に連携を取らせていただいている。基盤整備のお願いがあり、実施している。この場合何とか耐え忍び、観光業者は一生懸命やるから行政もできることをやってほしい。収束後は官民一体となり旅客誘致をやろうと打合せ中、そのことが本町地区にも経済効果が生まれる認識をしております。

問 洞爺湖観光は洞爺湖町全体、住民全体の洞爺湖観光でなければならぬ。一般住民の目線から見た洞爺湖観光に対する住民の意見を聞く努力を求めたいが。

答 各世代層、いろいろな考え方があると思う。令和3年度中に若い人の意見を聞く機会をぜひ立ち上げたい。ジオパークを活用した観光振興の切り口、現在根底にある時代性は大きく変わってきております。男女・親子・家庭の絆が強まり観光振興の核と

なる旅を含む行動・愛情を育む場を求める思考へと高まりを見せている。世界規模のコロナウイルスの蔓延によって自然回帰・人間性回復・安心で安全な生き方と暮らし方を求める行動へと舵を切り、世界ジオパーク認定地の存在感は格段に増すものです。縄文遺跡群が世界遺産に登録されますとジオパークと併まして世界に誇れる文化と地質の遺産がこの地に存在することになります。洞爺湖周辺、世界ジオパーク、北海道北東北縄文遺跡群、この二つが世界遺産登録になりますと小さい面積の町で自然遺産二つもある。原点を見つめ直し、洞爺湖観光にさらに磨きをかけて皆さんと一緒に全身全霊をかけて洞爺湖観光を盛り上げて参ります。



常任委員会活動レポート

総務常任委員会

■調査事項1

入江・高砂貝塚整備事業の進捗状況について

◆調査日

令和3年2月17日（水）

◆調査結果

北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産への登録に向け、関係自治体がそれぞれ機運を高めるべく努力をしている。当町においても、構成都市として各種施設の整備を行っていきます。平成27年より始まった入江貝塚と高砂貝塚の整備も順調に進み令和2年度からは貝塚館の増築と展示改修工事が始まり、令和3年3月15日が工期となっており、進捗状況について調査を実施。増築部分の館内は、ガイダンスや講習そして体験学習の場として利用されることになっている。木の素材を活かした梁や壁が印象的な室内となっている。現展示室の改修については、新しい施設見学の導線を意識した配置やゾーニングが施されていて以前の展示に比べて改善がなされていた。この他、今年度中に高砂

貝塚公園駐車場工事、貝塚館トイレの洋式化等の工事、来年度には縄文ロード整備工事が予定されている。

施設の完了後における活用方針3施設の位置づけの明確化と町民参加による取り組みについて説明があった。

町民の役に立つ史跡としての役割や、児童・生徒への教育の場としての役割を充分に果たせることを期待するとともに、観光振興にも活用できるよう担当課を超えた連携が重要である。

●調査事項2

新あぶた保育所建設計画の進捗状況について

◆調査日

令和3年2月17日（水）

◆調査結果

入江保育所の統合移築に虹田小学校の空き教室を活用することで計画されていましたが、小中学校で少人数学級の導入が進んだ時に、教室の余裕がないと対応が難しいことから、計画が変更となり、新築となりました。建設場所は「みんなの森公園」付近と示され、その状況について調査を実施。長引くコロナ感染症への感染

経済常任委員会

●調査事項1

洞爺湖町商工会の現況と課題について

◆調査日

令和3年2月2日（火）

◆調査結果

会員数は、令和3年1月現在302名で、商工業者の約65%が加入している。令和2年4月から12月までの会員加入者20名、脱会者8名となっている。昨年に引き続き、会員の確保に組織全体で取り組み、令和2年度の予算については、総額6754万円、新型コロナウイルス感

染症拡大防止のため各種事業を中止したことなどから、前年度比749万円の減となったが、財源不足の改善を図るため鋭意努力している。

本年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い各種の取り組みを展開。町及び議会に対し町内の経済4団体の連名による要望書を提出。また、事業経営相談窓口の開設など、事業者の支援に関する各種取り組みを進めてきた。

本年度の住宅リフォーム事業については、79件、工事金額は6517万円となっている。本事業については、開始から10年以上を経過し、初期に支援助成を受けた建物も再びリフォームが必要な時期を迎える、現在1回限りとしている助成の見直しが必要とされている。

●調査事項2

いぶり噴火湾漁業協同組合の現況と課題について

◆調査日

令和3年2月2日（火）

◆調査結果

令和2年3月末の組合員数は、45名で、ホタテ養殖経営体が28世帯である。令和元年度の水揚げ量は、全体で3376トン、7億1454万円であり、前年度に引き続き減少している。その内

ホタテ養殖貝の水揚げ量は、2202トン、3億6351万円、前年度と比較すると数量は増となっているが、金額で8457万円の減収となっている。

令和2年度におけるホタテ養殖貝の水揚げ量は、2041トン、3億582万円を見込んでいた。近年、噴火湾においては、本来水温が下がる時期に高水温が続くなど、ここ数年はホタテの生存率が低下、耳づり後の夏を越せないものが増えている。また、ホタテ養殖貝単価が安値となっており、厳しい状態が続いている。ホタテ貝のへい死の原因は現在も不明であり、試行錯誤の取り組みが続いているが、本年度において、調査を目的とした海洋観測ブイが伊達市黄金沖、長万部と鹿部町に1基ずつ設置運用されることとなっており、今後の活用が期待されている。

漁業者の負担は以前より大きくなっている。設備の充実化や漁労作業の省力化を図るため、北海道や町の支援を受け各種の事業を実施している。また、新たな取り組みとして、高級食材として用いられているナマコの漁礁整備を進め、漁業振興を図りたいと考えているが、事業に係る費用も高額となることから、町の支援助成が必要となっている。

議会のルール⑥

委員会活動

議案などは、最終的には本会議で決めますが、町の仕事は幅広く複雑なため、委員会で専門的に審査をしています。なお委員会には「常任委員会」「議会運営委員会」「特別委員会」があります。

【常任委員会】

議員は、必ずどこか一つ以上の委員会に所属しなければなりません。また任期は、2年としております。洞爺湖町議会では、次の3つの常任委員会を設置しています。

- 総務常任委員会
- 経済常任委員会
- 議会広報常任委員会（上記の2つの常任委員会と重複して所属することができます）

【議会運営委員会】

議会運営のための審議・会議規則や委員会条例の制定・議長の諮問に関する事項などを行います。

【特別委員会】

常任委員会とは別に、その時々が必要に応じて、審議対象を限定した特別委員会を設置することができます。任期は必要に応じて定められます。

議会の動き

1 月

- 26日 全員協議会
議会運営委員会
- 29日 令和3年1月会議（P2参照）
総務常任委員会

2 月

- 2日 経済常任委員会（P11参照）
- 4日 令和2年度胆振管内町村議会議長会第2回定期総会
- 17日 総務常任委員会（P11参照）
- 19日 会派代表者会議
西いぶり広域連合議会令和3第1回定例会
- 24日 経済常任委員会
- 25日 例月出納検査
- 26日 議会運営委員会

3 月

- 5日～15日 令和3年3月会議（P2、3参照）
- 5日 議会広報常任委員会
- 10日～12日 予算審査特別委員会（P2、3参照）
- 23日 令和3年第1回西胆振行政事務組合議会定例会
- 25日 例月出納検査

4 月

- 15日 会派代表者会議
全員協議会
- 16日 議会広報常任委員会
- 23日 議会広報常任委員会
- 26日 例月出納検査
会派代表者会議

編集後記



新型コロナウイルス感染症が発生してから、1年が過ぎ不慣れな生活を送っている中、ワクチン接種という明るい兆しも見えてきました。町民のワクチン接種を希望する皆さまが早急に接種できることを期待するばかりです。

有珠山噴火を経験し、今回はコロナ禍という大変な状況の中思うことは、あたりまえの生活がいかに有り難いことなのかということです。

一刻も早くコロナが終息する事を祈りたいと思います。

議会広報常任委員がこの度の発行をもって改選されますが、今後とも町民の皆さまのご意見や感想等頂ければ幸いです。

（板垣）

